

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	建築構造・設備実習 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位		授業形態	実習			
教科書/教材							
担当教員情報							
担当教員	加瀬谷章紀、藤原正城			実務経験の有無・職種	有・建築設計、有・設備設計		
学習目的							
建築設計、インテリア設計、構造、設備、施工の内容をより深い知識とするために、それぞれがどのように関連し、納められるのかを実際に施工される様子を見学し、そして実際に自身でも作成することで、図面と現場での施工を結び付けてより実務に近い知識を習得することを学習目的とする。							
到達目標							
次の3点を到達目標とする。 ①建築構造・設備実習2の課題を完成することができる。 ②クロス張りに関する規則、手順を理解する。 ③鉄筋の配筋方法、型枠の施工方法について理解する。							
教育方法等							
授業概要	意匠図、設備図、構造図、及び施工図をもとに講義と実習を中心に講義を進める。各図面を読み解くと同時に施工方法や施工する上での規則、定められた数値を予め講義によって確認し、講師の実演を見学、実習を1サイクルとして理解度を深める。						
注意点	授業には集中して取り組み、実習に適した服装で臨むこと。安全のため教員の指示には従い、必要な備品等は必ず持参すること。授業時間の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	実習成果物	40%	実習の作業手順、精度で評価する。				
	レポート	50%	講義内で行う課題の提出物の内容を総合的に評価する。				
	平常点	10%	授業態度によって評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	設備設計とは①			照明、コンセント等の計画の仕方を理解する。			
2回	設備設計とは②			空調、給排水等の設計方法を理解する。			
3回	構造設計とは			構造設計のフローを理解する。			
4回	鉄筋の配筋①			配筋の手順、結束箇所と方法について理解する。			
5回	鉄筋の配筋②			配筋の様子を見学し、施工方法を理解する。			
6回	鉄筋の配筋③			配筋、結束をして、鉄筋の間隔の検査により精度が確認できる。			
7回	木造軸組工法とは			木造軸組工法とはどんな構造か理解する。			
8回	木造軸組模型作成①			在来工法の部分構造模型の柱、梁を作成し、継手や仕口、金物の種類について理解する。			
9回	木造軸組模型作成②			構造用面材、下地板を張り、その上でタイルやクロスを張るための壁の構成について理解する。			
10回	木造在来工法 大壁の作成①			木材の加工の様子を見学し、施工手順を理解する。			
11回	木造在来工法 大壁の作成②			角材に墨付けを行い、継手、仕口の種類と特徴を理解する。			
12回	木造在来工法 大壁の作成③			木材を加工し、組み立てることで施工精度の重要性を理解する。			
13回	クロス張り①			クロス張りの様子を見学し、施工手順を理解する。			
14回	クロス張り②			クロスを張り付け、施工精度について理解する。			
15回	総まとめ			実習におけるレポートをまとめ、考察することができる。			